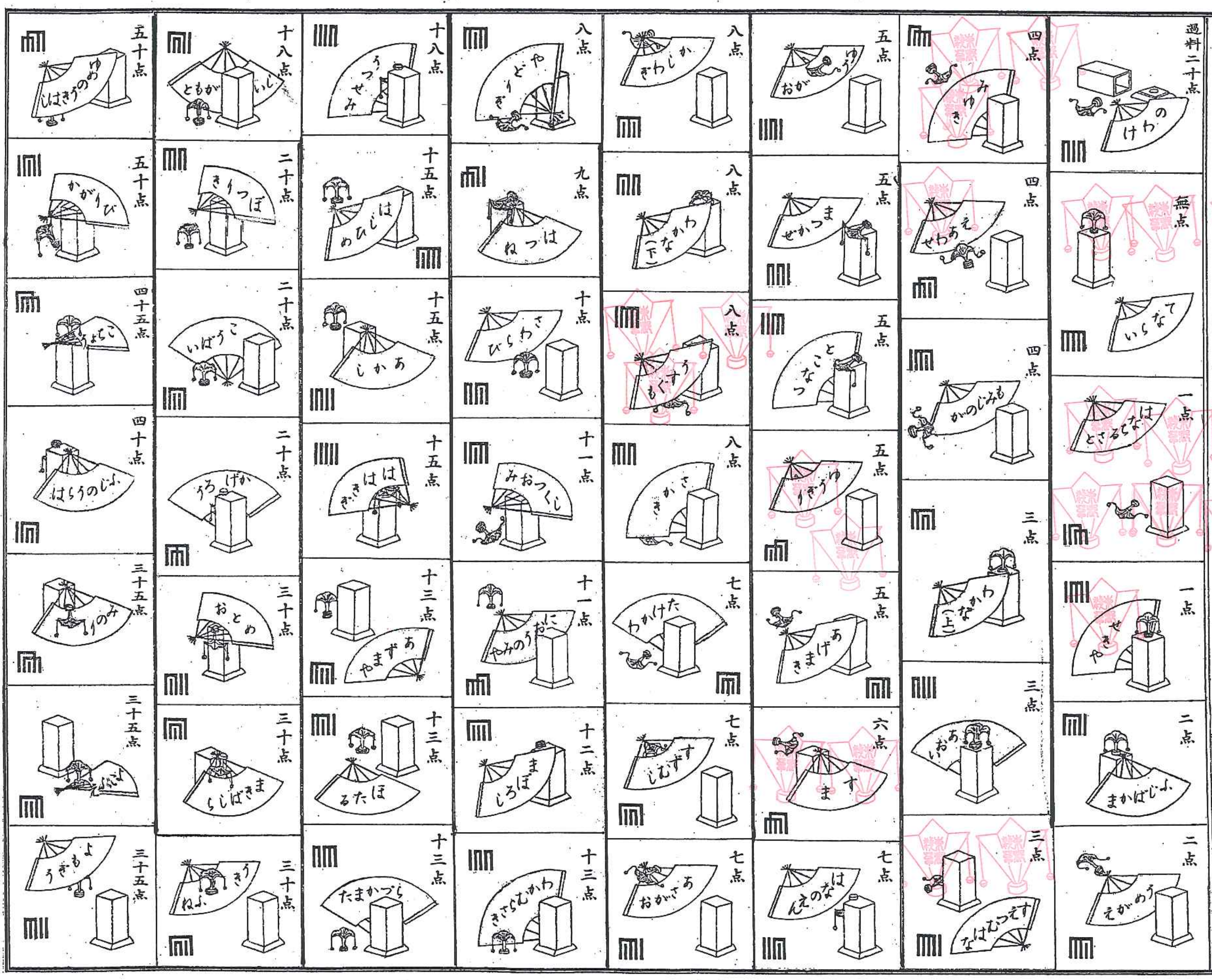
東都浅草
其扇流

投扇興得点控

四月　五日

一扇友連　殿
75　点

相方
年扇投連　殿
44　点


過料二十点
のわけ
無点
てならい
一点
はなちるさと
一点
せきや
二点
ふじばかま
二点
うめがえ
四点
みゆき
四点
えあわせ
四点
もみじのが
三点
わかな（上）
三点
あおい
三点
すえつむはな
五点
ゆうがお
五点
まつかぜ
五点
とこなつ
五点
ゆうぎり
五点
あげまき
六点
すま
七点
はなのえん
八点
かしわぎ
八点
わかな（下）
八点
うすぐも
八点
さかき
七点
たけかわ
七点
すずむし
七点
あさがお
八点
やどりぎ
九点
はつね
十点
さわらび
十一点
みおつくし
十一点
におうのみや
十二点
まぼろし
十三点
わかむらさき
十八点
うつせみ
十五点
はしひめ
十五点
あかし
十五点
ははきぎ
十三点
あずまや
十三点
ほたる
十三点
たまかづら
十八点
しいがもと
二十点
きりつぼ
二十点
こうばい
二十点
かげろう
三十点
おとめ
三十点
まきばしら
三十点
うきふね
五十点
ゆめのうきはし
五十点
かがりび
四十五点
こちょう
四十点
ふじのうらは
三十五点
みのり
三十五点
よこぶえ
三十五点
よもぎう

詞書と合わせて用いること

不許複製　平成25年11月

第一投者					第二投者					第三投者					第四投者					第五投者					合計
1	0/1	6/7	3/10	1/11	1/12	1/13	0/13	8/21	4/25	5/30	4/34	0/34	1/35	8/43	1/44	6/50	-1/49	4/53	1/54	8/62	4/66	5/71	1/72	3/75	

其扇流銘定の詞書

絵図と合わせて用いること　不許複製　平成２５年１１月

帖数	題名	得点	銘定の詞書【但し書】
二十八	のわけ（野分）	過料20	投扇で枕を倒し、常態を失う【蝶立てば過料なし】
五十三	てならい（手習）	無	投扇、蝶に触れず落ちる【扇の手元が枕面を打てば過料1点】
十一	はなちるさと（花散里）	1	扇蝶共に落ちる
十六	せきや（関屋）	1	扇は蝶に触れて枕にかかり、蝶はそのまま【両褄上がり2点増】
三十	ふじばかま（藤袴）	2	扇は蝶に触れて要側を上にして枕にかかり、蝶はそのまま
三十二	うめがえ（梅枝）	2	扇、蝶共に落ち、扇をはさんで枕蝶対称
六	すえつむはな（末摘花）	3	落ちた扇と蝶、枕をはさんで対称
九	あおい（葵）	3	扇は蝶に触れ、要側が地について枕の後ろにかかり、蝶はそのまま
三十四	わかな（じょう）（若菜（上））	3	扇は蝶に触れて枕にかかり、蝶はそのまま
七	もみじのが（紅葉賀）	4	落ちた蝶、親骨にかかる
十七	えあわせ（絵合）	4	落ちた蝶、地紙の縁にかかる
二十九	みゆき（行幸）	4	蝶落ちて倒れ、扇は枕にかかる
四	ゆうがお（夕顔）	5	落ちた蝶、地紙の上に納まる
十八	まつかぜ（松風）	5	扇落ち、蝶は枕の上で倒れる
二十六	とこなつ（常夏）	5	蝶は枕の上で倒れ、扇は枕にかかる【両褄上がり10点増】
三十九	ゆうぎり（夕霧）	5	落ちた蝶、地紙の下に納まる
四十七	あげまき（総角）	5	蝶は落ちて倒れ、扇は枕に地紙でかかり、片褄のみが地につく
十二	すま（須磨）	6	扇は枕にかかり、反対側に落ちた蝶
八	はなのえん（花宴）	7	扇落ち、蝶は枕に逆さ吊り
二十	あさがお（朝顔）	7	落ちた蝶、扇の骨に乗る
三十八	すずむし（鈴虫）	7	落ちた蝶、骨の下に納まる【蝶が骨の間より立てば10点増】
四十四	たけかわ（竹河）	7	要側が地について枕にかかる扇、蝶落ちて倒れる【枕と扇と蝶の間が替幅1つに納まれば5点増】
十	さかき（賢木）	8	枕にかかる扇で落ちた蝶を押さえる
十九	うすぐも（薄雲）	8	蝶は落ち、枕にかかる扇の陰にかくれる
三十五	わかな（げ）（若菜（下））	8	扇は蝶に触れて枕にかかり、蝶は枕上にて倒れる
三十六	かしわぎ（柏木）	8	落ちた蝶、扇の要にかかる
四十九	やどりぎ（宿木）	8	枕にかかる扇、外側から扇に触れる落ちた蝶
二十三	はつね（初音）	9	蝶は枕上で倒れ、扇は要側を上にして枕の手前にかかる【蝶が骨間に挟まれば5点増、要が枕上から外れれば4点減】
四十八	さわらび（早蕨）	10	蝶落ちて立つ
十四	みをつくし（澪標）	11	扇のみ枕の上に残り、蝶落ちる
四十二	におうのみや（匂宮）	11	落ちた蝶は立ち、枕との間に扇
四十一	まぼろし（幻）	12	扇は枕にかかり、蝶は逆さ吊り【蝶を扇ではさんで枕にかかれば10点増】
五	わかむらさき（若紫）	13	扇は枕にかかり、落ちた蝶立つ
二十二	たまかづら（玉鬘）	13	要側が地について枕の後ろにかかる扇、落ちた蝶立つ【蝶が扇に触れていれば10点増】
二十五	ほたる（螢）	13	扇は枕の傍に落ち、蝶は要または親骨から替幅1つ分の側に立つ
五十	あずまや（東屋）	13	扇落ち、枕をはさんで対称に落ちて立つ蝶
二	ははきぎ（帚木）	15	蝶は枕の上で倒れ、扇その上に乗る
十三	あかし（明石）	15	扇は枕にかかり、反対側に落ちて立つ蝶
四十五	はしひめ（橋姫）	15	扇は枕にかかり、蝶は落ちて立つ【蝶が扇の正面にあれば10点増】
三	うつせみ（空蝉）	18	扇は枕にかかり、蝶は枕に逆さ吊り【蝶にかかり扇の先が浮いていれば15点増】
四十六	しいがもと（椎本）	18	扇は要側を上にして枕にかかり、蝶は枕または扇から替幅1つ分の側に立つ【蝶が隠れれば5点増】
一	きりつぼ（桐壺）	20	扇は枕上に残り、落ちた蝶立つ
四十三	こうばい（紅梅）	20	蝶落ちて立ち、扇は要側が地について枕と蝶にかかる
五十二	かげろう（蜻蛉）	20	蝶は枕に逆さ吊り、要側が地についてかかる扇で蝶をはさむ
二十一	おとめ（少女）	30	蝶は枕の上で逆さ吊り、扇その上に乗る【蝶を要にて掛ければ10点増】
三十一	まきばしら（真木柱）	30	枕にかかる扇の、骨にかかって宙吊りの蝶【鈴が要にからんで下がれば20点増】
五十一	うきふね（浮舟）	30	蝶は落ちて地紙の上で立つ【枕の手前ならば10点増】
十五	よもぎう（蓬生）	35	落ちた蝶、扇の下で立つ【両褄上がり15点増】
三十七	よこぶえ（横笛）	35	蝶落ちて扇骨の上で立つ
四十	みのり（御法）	35	枕にかかる扇の、地紙の縁にかかって宙吊りの蝶
三十三	ふじのうらは（藤裏葉）	40	扇は要側を上にして枕の手前にかかり、蝶は枕の後ろに逆さ吊り
二十四	こちょう（胡蝶）	45	立った蝶を扇骨上に乗せて枕の上に残る【立った蝶が地紙の上ならば5点減、蝶倒れれば15点減】
二十七	かがりび（篝火）	50	扇は枕の上に残り、蝶は要側で宙吊り
五十四	ゆめのうきはし（夢浮橋）	50	蝶落ちて立ち、枕との間に扇の橋を掛ける